**第１９回市民自治推進委員会　まちづくり部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和２年１月２７日（月）　１８時３０分～ |
| 開催場所 | 登別市役所　２階　第１委員会室 |
| 出席者 | （部 会 長）中原　義勝（部 会 員）山田　正幸、川島　雅司、工藤　隆行（庁内委員）田中　道郎（庁内委員兼事務局）大越　智輝（事 務 局）伊藤慶一郎 |
| 欠席者 | （副部会長）成田　育磨（部 会 員）稲葉　一彦、渡部　雅子、髙橋　達朗 |
| 議　　題 | ①チラシ（案）の決定について②『地域だより』の作成・配布について③まちづくり部会の今後の活動方針について |

協議の概要

まちづくり部会では町内会への加入を呼び掛けるチラシを作成することとしており、前回の部会での意見を盛り込んだ最終案（１案・２案）ができたため、どちらかを選定すること、市の広報紙内『地域だより』コーナーにおいて、市連合町内会が各単位町内会等の活動を掲載してきたが、その取組が平成３０年８月号をもって１０年経過したことを受け、記事を取りまとめた冊子をまちづくり部会で作成すること、更には、まちづくり部会の今後の取組について、といった３つの議題について協議する。

議題①　チラシ（案）の決定について

●協議事項

・表面上部・枠内の説明で、加入率は“７２％まで低下”とあるが、逆を言えばまだ３割近い人が未加入ということから、加入していない人にとって町内会に加入しなくても大丈夫、と捉えられかねないのではないか。

・加入率の記載（２行目）については誤解を与えかねないし、その一文が無くても意味としては繋がるため、削った方が良いと思う。

・３行目と４行目に記載の「自助」、「公助」、「共助」という言葉はまだまだ一般的ではなく、正しい意味も伝わりにくいので、詳しい例などを用いて記載した方がわかりやすい。

・タイトルについて、町内会に加入していない人をメインターゲットにするならば、危機感を煽るというよりも、意義や無くなっては困るということを問い掛ける方が効果が期待できると思うので、２案の「存続（存在）意義…」を使った方が良いと思うし、それならばサブタイトルは１案の「今一度、必要論を皆さんで考えてみませんか？」という流れの方がしっくりくる（折衷案）。

　・作成したチラシは、広報のぼりべつ４月号に折り込むほか、転入窓口や町内会による未加入世帯への個別訪問の際に活用してもらう予定。

●決定事項

　・本日出た意見を反映させ、最終案として仕上げる。

・チラシ（案）について意見を募るのは今回で終了し、部会員には今後、完成品（成果品）を示す流れで進める予定（後日、中原部会長に相談し、了承済）。

議題②　『地域だより』の作成・配布について

●協議事項

・平成２０年９月号の連載スタートから１０年が経過し、これまでの取組の振り返りと今後の取組の参考としてもらうことを目的に、まちづくり部会としてこれまでのページ全てを編さんした冊子を作成し、協働のまちづくりの更なる活性化に繋げたいと考えている。

・庁内の印刷機で作成し、５月に開催される市連合町内会の総会で配布する予定。

・チラシはまちづくり部会と市連合町内会との“合作”だが、この冊子は市連合町内会の側面支援という位置付けのため、まちづくり部会作としていることと、更に言えば市制施行５０周年に連動した企画とするとインパクトが大きいということも考慮し、５月の総会時での配布の予定とした。

・まちづくり部会として冊子を作成することは、良い取組だし問題ない。

●決定事項

・広報のぼりべつ３月号までを編さん予定。

・町内会加入促進チラシと本冊子は、完成した際に少なくとも市連合町内会・三役会等に報告する（タイミングをみて）。

議題③　まちづくり部会の今後の活動方針について

→「まちづくり部会の取組案」（事務局で作成したＡ４横資料）に基づき協議

●協議事項

　・事務局案の１つ目「『町内会加入促進チラシ』の活用」について、再編等を含めた町内会のあり方は永遠のテーマだと思うが、新たな取組の必要性が生じた時に考えることで、２つ目の「事故の少ない、歩行者にやさしいまちづくり」、３つ目の「ＳＤＧｓの目標達成に向けた取組」を軸に考えてみてはどうか。

～「ＳＤＧｓの目標達成に向けた取組」について～

・ＳＤＧｓについて、北海道内では東川町や札幌市が先進的に取り組んでいるが、具体的にどういう視点で、どういうことをしているのかは把握できていないので、勉強するところから始めるというのも良いだろう。

・本市のＳＤＧｓに対する考えは、既に各部が実施している事務事業自体が大きく捉えれば１７のジャンルのいずれかに該当するという認識である。

・企業や団体レベルでもＳＤＧｓに関する取組が始められており、神奈川県のある団体はメインとなる取組の柱を数本立て、それに向かってできる取組を柱毎に何項目か設定しているのだが、考え方としては設定した取組を実施することにより、その柱がＳＤＧｓの１７ジャンルのうち、何番と何番をクリアできる、というような計画になっているようだ。

・登別でももっと市民レベルで意識を持たせることが必要で、せっかくやっている取組はＳＤＧｓのどの分野に沿ったものなのか、ということをまとめ、ＰＲしていくという役割が必要なのかもしれない。

・登別市や市内団体等の取組が、ＳＤＧｓの様々な分野に関わっているということを、まちづくり部会が発信していければ良い。

●決定事項

　・まちづくり部会は今後、ＳＤＧｓに関する取組を協議・検討していくこととした（町内会等については協議事項が生じた際に議題とする）。

　・他の自治体の取組が市民とどのような関わりを持って実践しているのか、また、それによってどのような効果が生まれたのか、事務局が次回の部会までに調べることとする。

　・今後、調査など、必要があれば事務局から部会員にも協力を仰ぐ（部会員了承済）。

【次回会議】

　・日程：事務局にて他自治体の取組状況を確認後、日程調整する。

・内容：他自治体の取組状況の確認等。